



地域リハビリテーション活動は、元気な船橋をつくるお手伝いをいたします

船橋市における地域包括ケアシステム構築に向けて、
地域リハ推進委員会が果たす役割について

表裏一体で進む医療・介護における2大改革

少子高齢化の進む社会の中において、医療提供体制も大きく変化しています。特に平成30年度の医療・介護保険の改定においては、「早く良く治して、早く地域に返し、地域において適切かつ十分な支援をすること」として、急性期病院と地域包括ケア病棟の役割の明確化など医療機能の分化と連携（地域医療ビジョン）と地域包括ケアシステム推進目標の実現が色濃く示されています。その中でも、回復期リハビリテーション病棟は急性期病院と地域を結ぶ大事な役割を果たしております。また、地域包括ケア病棟は急性期病院からの患者さんの受け入れと在宅からの患者さんの受け入れの両方向からの役割が期待されています。



石川 誠 氏

表裏一体で進む医療・介護における2大改革

1. 医療機能の分化と連携の推進
(地域医療ビジョン)
2. 地域包括ケアシステムの推進

船橋市の地域包括ケアシステム構築に貢献する事を目指しています

現在、地域包括ケアシステムの構築が課題となっておりますが、船橋市は市長さんが先頭に立ち、「健康寿命日本一」のかけ声のもと他市町に比べ、先んじています。私たち地域リハ推進委員会の構成団体は17団体と多く、船橋市の行政と連携して地域密着型をめざした活動を行い、地域包括ケアシステム構築の一翼を担ってきました。以前は地域リハ研究会として活動して参りましたが、平成28年度からは「船橋在宅医療ひまわりネットワーク」と合流し、5番目の委員会として活動しています。活動内容は、船橋市をリハビリの面で支えてゆくと言うことにつきます。そのひとつとしては、現在船橋市リハビリセンターが船橋市から委託されて行っている地域リハビリテーション拠点事業（普及啓発活動、各種勉強会・研修会の開催、ネットワーク構築、生活期リハについての実態調査、リハビリテーション総合相談等）の円滑な活動へのサポートは大事な役割となっております。

本冊子の発行と障害児対応を知る

平成29年度は当委員会が取り組むべき新しい課題を検討してゆくなかで、リハビリテーションについての知識や活動について、幅広く市民の方にお伝えすることができないかということで、本冊子の発行に至りました。また、もう一つの取り組みとして、高齢者に目が向いていますが「障害児対応はどのようになっているのかを知る」ことの活動が端緒についたところです。

社会はまさに高齢化にむかってまっしぐらです。地域リハ推進委員会はひまわりネットワークの活動の中で、年老いても障害があっても、住み慣れたところでその人らしく生き生きと生活ができ、「生きていて良かった、生きてきて良かった」と思えるようなまちづくりに少しでも貢献できればと思っています。

船橋市では、地域リハビリテーションの普及・啓発を行うため、平成19年度より「地域リハビリテーション協議会」を設置し、活動を行ってきました。平成28年度より船橋在宅医療ひまわりネットワークに「地域リハ推進委員会」が設けられ、協議会の活動を補完しています。

船橋市における地域リハビリテーション活動の展開について

船橋市地域リハビリテーション協議会の設置

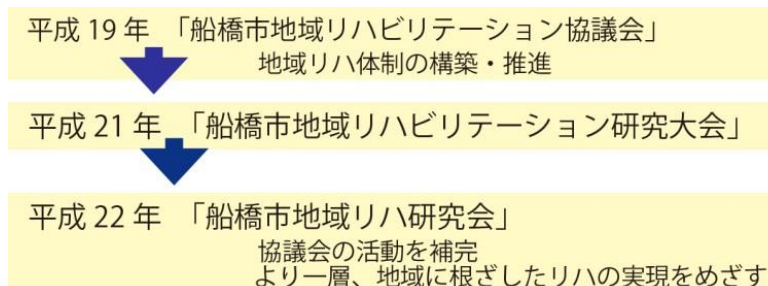
平成19年5月に、「高齢者及び障害のある人々が地域で生き生きと自立した生活を送れるよう、急性期から回復期、維持期まで適切なリハビリが継続的に提供される地域リハビリ体制を構築し、推進するために必要な事項を協議すること」を目的として、船橋市地域リハビリテーション協議会が立ち上がりました。そこで、平成21年9月に「船橋市地域リハビリテーション研究大会」が開催されています。この研究大会において、会場や実行委員から、このような研究大会を継続的に行ったらどうかという提案や、各地域で勉強会を開催してほしいという声が聞かれました。

船橋市地域リハ研究会の活動開始

研究大会で寄せられた声に答える形で、地域リハビリの活動に賛同する有志が集まり、平成21年には「船橋市地域連携パス」の検討、平成21年10月にはシンポジウムを開催しています。その活動の中で、平成22年3月に「船橋市地域リハ研究会」と名称を定め、活動を開始し、平成22年4月16日に北部地区で地区勉強会を開催し、地域リハの講演会、研究発表会を企画しています。この研究会は、「船橋市地域リハビリテーション協議会」の活動を補完し、船橋市における地域リハビリテーションの発展に寄与すべく、具体的な活動を行うことを目的としました。

船橋市地域リハ研究会の活動内容

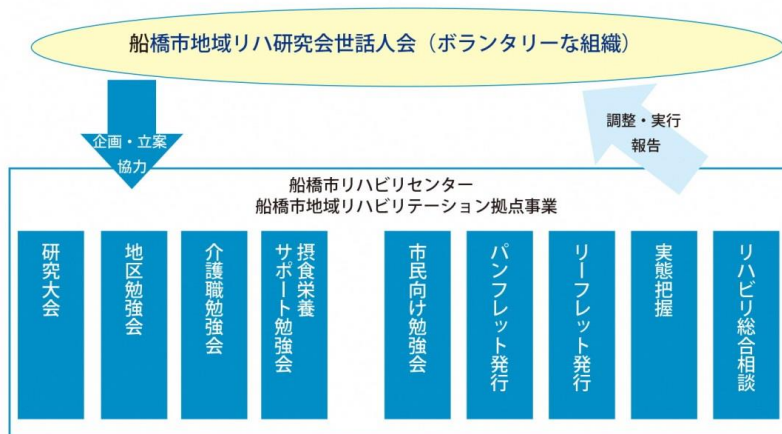
年間計画では、研究大会は2回、地区勉強会は3回、市民公開講座は1回、介護職員向け勉強会は11回、摂食栄養サポート勉強会は2回行う予定としています。この間に世話人は6回（2ヶ月に1回）、地区勉強会準備会はそれぞれ4回開催予定となっています。（14・15ページ年間予定表参照）



世話人会の様子

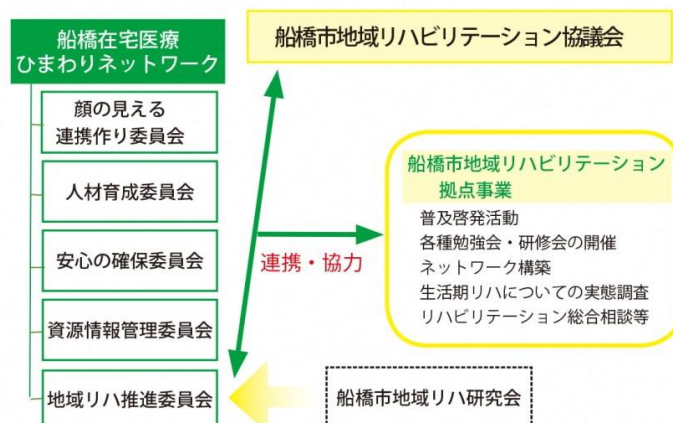
船橋市地域リハ研究会の変遷 市の事業として運営へ

平成26年度より医療法人社団輝生会が船橋市リハビリセンターの指定管理者となり、地域リハビリテーションの推進事業を行う拠点と位置づけられ、地域リハビリテーション拠点事業を行っていくこととなりました。事業内容は、リハビリテーションについての普及啓発活動、各種勉強会・研修会の開催、生活期リハについての実態把握、リハビリテーション総合相談などです。このことの意味は、今まで有志で行ってきた「船橋市地域リハ研究会」の活動を、市が市の事業として行っていくことを示したものです。この変更に対して、今まで参加してきていただいた有志の団体の方の賛同が得られ、今まで同様の活動を行っていくこととして、活動しています。



船橋市地域リハ研究会の変遷 —船橋在宅医療ひまわりネットワークへの合流— 地域リハ推進委員会として活動開始

船橋市においては、在宅医療の充実と医療・介護の連携を推進するため、「船橋在宅医療ひまわりネットワーク」が平成25年度より活動を開始し、市全体での地域包括ケアシステムの構築に向けたネットワークシステムが整って参りました。このため、平成28年度より、「船橋市地域リハ研究会」は「船橋在宅医療ひまわりネットワーク」の委員会のひとつ「地域リハ推進委員会」として活動していくこととし、市内外の情勢を踏まえ、リハビリテーションに関する懸案事項を審議するとともに、地域リハ支援事業に協力していくこととなりました。



地域リハビリテーションとは

「障害のある子供や成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合っていく活動のすべて」(日本リハビリテーション病院・施設協会 定義) のことです。

地域リハビリテーション拠点事業

地域リハビリテーション拠点事業は、研修・講演会の開催、リハビリテーションの普及啓発活動となっています。

【研修・講演会について】

リハビリ関係者向け講演会は研究大会、市民向け講演会を年に2回行い、リハビリ関係者向け研修会は、地区勉強会を年に3回、介護職員向け勉強会を年に10回、摂食栄養サポート勉強会を年2回行っています。

市民向け講演会は年2回行い、市民向け研修会では、船橋福祉フェスティバルやヘルシー船橋フェアなどへ参加しています。

【リハビリテーションの普及・啓発について】

パンフレット作成・配布を年1回、地域リハ推進用リーフレット作成は年2回、リハビリセンター刊行物は年4回、リハビリ総合相談の周知ちらし作成・配布は年1回行っています。さらに、ホームページに最新情報を年2回掲載したり、生活期リハに関する調査研究を年3回行っています。

研究大会の開催

平成21年から年2回開催。

1. 地域リハの先駆者の招待講演による研究大会
2. 研究発表、シンポジウム、特別講演で構成する研究大会



浜村明德 氏



齊藤正身 氏

地区勉強会

平成22年から事例検討を実施。

市域を3ブロック（北部・中東部・南西部）に分けて実施。

各地区に準備委員を設置、独創的な勉強会を展開。



介護職向け勉強会

市内の施設や訪問・通所系事業に従事する介護職員向けに、リハビリテーションの視点を取り入れた介護技術についての勉強会。移動・移乗・栄養・嚥下・コミュニケーション・体操などの勉強会を実施。平成22年から年6回、合計24回、延べ1,000人以上の方が参加。平成29年度は年11回の勉強会を開催。



摂食栄養サポート勉強会

年2回、言語聴覚士会、栄養士会、歯科医師会と協働で開催されます。



市民公開講座

土曜日の午前に、市民を対象としたリハビリ関連の講演会を開催。



大田仁史 氏



澤村誠志 氏

パンフレット・刊行物・リハビリ相談ちらし・ホームページなど

地域リハ推進委員会を構成する団体とその活動を紹介します。

お問い合わせは各団体へ

一般社団法人船橋市医師会

☎047-424-4771

船橋市医師会は創立80周年を迎えます。船橋市誕生と共に船橋市民皆様の健康と福祉のため歩んでまいりました。医師会が地域の医療・介護の充実を図るのは当然の役目ですが、関係する団体と連携しなければ、満足な結果は得られません。そのために医療・介護関係者が行政機能を活用しつつ主体的に活動する任意団体として「船橋在宅医療ひまわりネットワーク」が設立されました。現在は二十数団体が参加し、多職種間での顔の見える連携づくり、人材の育成、在宅医療提供時における支援体制の検討等の活動を行っています。

また、認知症患者の診療に習熟しており、かかりつけ医への助言や支援を行い、専門医療機関や市町村等との連携の推進役となるための研修を修了した認知症サポート医が活発な活動をしています。高齢者の方には運転免許証の自主返納をお願いしています。

船橋在宅医ネットでは船橋市在宅医療支援拠点「ふなぽーと」と協力して、質の高い医療提供に努めています。



公益社団法人船橋歯科医師会

☎047-424-4855



船橋歯科医師会は創立70周年を迎えました。地域の公衆衛生に寄与するための機関であるさざんか特殊歯科診療所（平成6年～）および、かざぐるま休日急患・特殊歯科診療所（平成27年～）を開設し、障害児や障害者、要介護高齢者に対する歯科診療を行っています。また、要介護高齢者への訪問による歯科診療および摂食機能訓練を充実させることにより、地域包括ケアシステムの一翼を担い、口腔ケア体制の充実・強化及び在宅歯科医療の普及に貢献していきたいと考えています。

摂食機能障害を抱えた患者さん及びそのご家族が望んでいることは、生涯にわたり安全かつ楽しく食事ができることではないでしょうか。そのためには口腔機能の維持が必要不可欠であり、個々の症状に応じた適切な治療や摂食機能訓練を行うことにより、患者さん及びそのご家族のニーズに対応し、QOL（生活の質）の維持もしくは向上が図れるものと考えています。



船橋薬剤師会では地域に貢献する薬剤師を支援するために、定期的な勉強会を実施し薬剤師個々のスキルアップを図っています。

先日行われた嚥下障害、摂食障害に関する講習会では、薬剤選択や服用時の注意点、また嚥下機能低下のメカニズムを知り、薬局の窓口や在宅訪問時に誤嚥性肺炎防止の為に声掛けやアドバイスのポイントを学ぶ機会を持ちました。年間を通じて行われる市民講座では、薬の正しい使い方や上手な薬局の利用法などについてお話し、かかりつけ薬局機能の活用を推進しています。

在宅訪問など介護の現場では、食事や睡眠、排泄、認知、運動機能等から薬の効果や副作用がないか観察します。ADL（日常生活動作）への影響の有無、特に薬の副作用が及ぼす身体的影響を、薬学的な観点から考える事も薬剤師の重要な役割と考えられます。多職種の方々と情報の共有や十分な連携が、患者さまにとって利益になることが望めます。今後も患者さまを支える地域包括ケアの輪の一部となり、医療と介護をつなぐ役割を担えることを目指しています。



千葉県理学療法士会は、再来年に創立50周年を迎えます。現在（平成30年5月）の会員数は約4,200名となります。理学療法士は、急性期病院、回復期病院、一般病院、介護保険施設・事業所、障がい児・者施設、行政などに勤務し、小児から高齢者まで、骨・関節疾患、循環器系疾患、神経系疾患や難病、呼吸器系疾患、内科系疾患等あらゆる疾患や障がいを持つ方々に理学療法を用いて治療を行うとともに、ご本人やご家族の思いに寄り添い、その人が持つ心身機能を最大限に活かし、環境の面から、介護力の面から、装具・福祉用具の面からその人の望む生活や暮らしを実現するお手伝いをします。また、ロコモティブシンドローム予防やスポーツ障がい予防、健康増進、介護予防・転倒予防などにも理学療法を用いて指導や地域づくりなどの支援を行います。そして、これらは他職種と協働しチームアプローチとして行い、地域の住民一人一人を支えています。

平成11年介護保険制度施行前に市内で勤務する医療・福祉の有志が勉強会を目的とした組織から始まり、平成12年11月に設立された介護支援専門員（ケアマネジャー）の職能団体です。

ケアマネジャーの資質向上を目指した研修企画や介護保険サービスの調査研究、介護保険に係る情報提供、行政機関および関係団体との連携を図っています。また、医療・福祉等の学識者の講座や社会問題化（虐待・感染症等）されている内容を、船橋市福祉局関係機関と一緒に考える共催研修会の開催。その他、市内介護事業者の交流会の開催。市内を5地区の圏域に分け、それぞれに地区役員を配置、地域包括支援センター・医療関係者との地域密着型合同勉強会にも力を入れ開催しています。

地域での活動が顔と顔の見える関係をモットーに、地域の医療・福祉関係者同士の連携が深まるシステムづくりを通じて「住み慣れた場所ですらその人らしく過ごせる地域づくり」を目指して活動しています。



船橋市ソーシャルワーカー連絡協議会

☎047-438-3321

船橋市ソーシャルワーカー連絡協議会は、市内および近隣の医療機関や社会福祉関連施設、介護保険施設などで働くソーシャルワーカー（対人援助者）で構成する団体です。社会福祉基礎構造改革を迎える時期に地域のソーシャルワーカーが組織化していく必要性が高まり、平成8年に設立されました。設立当初は15名だった会員も、平成30年4月時点で140名となっています。

当会は社会福祉の担い手としてのソーシャルワーカーの資質向上や、医療社会事業や精神保健の向上と社会福祉の増進に寄与していくことを目指し、ソーシャルワーク業務に関する研修の企画運営、関係機関及び関係団体等と連携して医療・保健・福祉に関する地域ネットワーク作りへの参画、ソーシャルワークの普及・啓発の活動を行っています。これからも地域の人々の要請に応え得るソーシャルワーカーであるための活動を、推進してまいります。



ふなばし市訪問看護連絡協議会

☎047-403-5731

ふなばし市訪問看護連絡協議会は、設立4年目を迎えました。

医療保険制度で1992年（平成4年）に訪問看護が始まり、船橋市訪問看護ステーションを中心に連絡会として運営してきました。その後を引き継いで、2014年（平成26年）にふなばし市訪問看護連絡協議会として発足した次第です。

現在、市内には29か所の訪問看護ステーションがあります。小児～高齢者まで、入院中に受けた看護内容とほぼ同様の看護を自宅で受けることが出来るようになりました。

医療保険、介護保険を利用した訪問看護の展開は小児の慢性疾患、難病、ガン末期や長寿社会になり、高齢者に多い誤嚥性肺炎などでの入院予防、またそれに伴う、ご本人、ご家族の負担の軽減などを担っています。また、健康長寿のためには、高齢者の栄養に気を配り、今後は、特に一人生活になられた方々の閉じこもり予防、体力づくりの面からも栄養に注目した訪問指導、健康相談を行っていきたくと考えています。

船橋市訪問介護事業者連絡会は、平成16年6月に設立いたしました。介護保険制度の訪問介護事業の適正な運営と事業者間のネットワークの構築、サービス提供責任者の育成、ホームヘルパーのスキルアップ研修を主な目的として活動しております。近年においては、会員を対象に年2回の集団検診の開催を始め、サービス提供記録用紙を作成し、安価での共同購入や介護人材の確保のために「合同就職説明会」の開催等を行っています。

訪問介護は、在宅で暮らす利用者の自立した生活を一番身近なところで支援しています。超高齢化社会の現代においては、在宅を支える訪問介護の役割はますます重要になっています。

現在「船橋在宅医療ひまわりネットワーク」の関係団体の一つとして活動していますが、他の関係団体との連携もしやすくなり、顔の見える関係づくりができています。訪問介護の更なる「資質向上」を目指し、利用者の生活のQOL向上を目指し、今後も努力してまいります。

船橋市栄養士会

☎047-457-7586

船橋市内在勤者、市内在住者、近隣市町村在住の会員からなり、昭和43年5月に設立され、今年で50周年を迎えます。行政機関との連携のもと地域の食生活改善、健康づくりに関する普及、啓発及び会員の資質向上、相互の親睦を目的としています。高齢者の低栄養、若い女性のやせ、中年男性の肥満、小学生の朝食抜きの食習慣など健康を維持するための食生活改善は益々重要になっています。嚥下障害、摂食障害に関する勉強会や講座に参加し、「安全に美味しく食べる」を意識した栄養管理を進めています。

また、健康寿命日本一に向け、病院、行政、福祉施設、商品開発、事業所、学校など幅広い分野で活動をしており、それぞれの特性を生かしたきめ細やかな栄養管理や栄養改善活動を行っております。市民の生活スタイルや社会環境の変化に対応した栄養管理ができるよう、また、地域連携の関係団体の一員としての役割を果たせるよう取り組んでいます。

船橋市介護老人保健施設協会

☎047-439-6011

介護老人保健施設（老健・ろうけん）は船橋市内に現在14施設があり、地域に根ざした施設として、地域包括ケアシステムの中で在宅ケア支援の拠点的位置づけとなっています。在宅で認知症を含めた介護を必要とする高齢者や退院後の利用者を受け入れ、医師や看護師が24時間体制で健康管理を行いながら、リハビリの提供、在宅復帰を調整しています。

また、医療やリハビリのほか、身体状態や生活スタイルに沿って介護士やケアマネジャー、支援相談員、栄養士、薬剤師など各専門職がそれぞれの視点とチームでの自立支援に取り組み、在宅復帰後も生活に必要な家族への介護指導、通所や訪問リハ、ショートステイなどの対応をしています。

これからも「老健」の特徴である、多職種が専門性を活かし利用者の在宅復帰、認知症ケア、また状態によっては終末期・看取りなどの様々な希望に寄り添い、可能な限り住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう支援していきます。

船橋市老人福祉施設協議会

船橋市老人福祉施設協議会は、船橋市内の特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム（ケアハウス）、養護老人ホームを運営する社会福祉法人が加盟する協議会です。

平成30年4月1日現在の会員は、特別養護老人ホーム26施設、軽費老人ホーム（ケアハウス）8施設、養護老人ホーム1施設で、各施設長が中心となって活動をしています。

活動内容の一例をあげますと、平成28年4月、船橋市と「災害時における要配慮者の受入れに関する協定」を締結しました。これは、災害時に船橋市から受入れ要請のあった要配慮者を、協議会が連携して受入れるという仕組みです。平成29年度には、有事の際を想定した訓練も実施しました。

もう一つの活動例として、緊急ショートステイの受入れを、市内の特別養護老人ホームが当番制で行っています。例えば、警察などが高齢者の徘徊を発見した場合、身元が確認できるまでの間や、虐待を受けている高齢者を一時的に施設で保護したりなど、市内の地域包括支援センターや警察などと連携しながら、協議会として地域に貢献できるよう活動をしています。

その他、各施設での取り組みや研究を発表する「高齢者福祉事例研究発表会」を開催し、介護職を目指す学生や介護未経験の中高齢者をはじめとした地域住民の皆様に、施設の中での活動を知っていただく取り組みを実施したり、行政の方を講師に招き研修会を実施する等の活動をして、会員間の連携・連帯を深めています。

※船橋市老人福祉施設協議会の問い合わせ先は、ひまわりネットワーク事務局（047-436-2354）までお問い合わせください。

船橋市回復期リハビリテーション病棟連絡会



平成27年9月1日、市内6病院の回復期病棟関係者が集まり、船橋市回復期リハビリテーション病棟連絡会についての話し合いを開催。「船橋において回復期リハ病棟は地域にどう貢献できるのか」をテーマにディスカッションを行い、同意を得て、連絡会が設立されました。その後、船橋市内で回復期リハ病棟は、6病院10病棟412床から、平成28年には東船橋病院も加わり、7病院11病棟464床に増加しました。

現在は年に3回位の開催を各病院持ち回りでを行い、約2年間を経過し、計7回開催して一巡しています。連絡会では病院見学・紹介やグループディスカッションを行っており、急性期病院との連携、入院中の取り組み、生活期支援先との連携、回復期全般のことなど、様々なテーマを取り上げ、討議しています。その都度アンケートや振り返りを行い、各病院は独自な問題を抱えながらも、共通な話題で盛り上がることも多く、有益な機会となっています。今後もさらにテーマを掘り下げながら継続し、協力体制を深め、地域包括ケアの一翼を担っていきたいと思っています。

船橋市訪問リハビリテーション連絡会

船橋市訪問リハビリテーション連絡会は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のリハビリテーション専門職を中心に平成26年8月に24医療機関、事業所が参加し設立しました。

私たち訪問リハビリテーションを行う理学療法士、作業療法士、言語聴覚士は、ご自宅で療養生活を送る人に対し、当事者の心身機能を評価し、生活機能を評価し、寝て起きて、移動し、排泄、食事、入浴、更衣、整容動作をはじめ、調理、洗濯、掃除、買い物や趣味活動、外出動作、コミュニケーション、課外活動など、暮らしの元となる動作や作業を分析します。そして、障がいとなる因子を解明し、具体的な解決策を提示し、リハビリテーション専門職による直接アプローチやご家族や介護職、他の医療職はじめその人の暮らしに関わる人たちと協力し、その人の望む生活を最大限引き出していきます。

病気や怪我で心身に障がいを負ったとしても、また老化で介護が必要になったとしても、その人の持てる力を活かして、ご家族含め「満足できる人生」を支えています。

船橋市通所リハビリテーション連絡会

通所リハビリサービスを提供する事業所同士が情報交換を行い、課題を共有し、課題に対する取り組みをすることで、市民に質の高いサービスを提供することを目的に平成27年2月に立ち上がりました。参加事業所は、21事業所であり、介護老人保健施設13施設、医療機関は8事業所で組織されています。

主な活動内容としては、年に4回、定例会を企画し、市民協働課など行政を招いて勉強会を行ったり、デイサービス連絡会と情報交換会を開催しています。また、各事業所の送迎範囲を地図上に図示し、送迎状況を可視化する活動も毎年行っています。

平成28年度から始めた船橋市リハビリセンターに協力し、通所リハビリテーション実態調査を行い、市内の通所リハビリの人員体制や、加算算定状況などをまとめ、地域リハビリ研究大会で発表する活動も行っています。29年度から初の試みとして、セラピストのみの交流会を開催。セラピスト同士での情報交換の機会を作る活動を行っています。

船橋市デイサービス連絡会

☎047-411-3866

平成25年、140を超える船橋市内の通所介護事業所が連携することによって、デイサービスが抱える課題を解決していきたいとの思いから、船橋市デイサービス勉強会を設立し「デイサービス職員の知識・介護技術の向上を目的とした勉強会」「法令の理解を目的とした勉強会」などの活動を行って参りました。

そして、平成29年、船橋市デイサービス連絡会となり、医療や他介護団体、地域住民などとの顔の見える関係づくりに取り組み、その関係を深めることで、地域福祉の向上への貢献が行えるように、さらに、連絡会を通じてデイサービスで働く職員が、ともに成長し合えるような場になり、その輪が広がるよう取り組んで参りました。

今年度は「デイサービス運営への確かな貢献」を目標に、「介護職員の能力向上への貢献」「デイサービス経営への貢献」「人材定着への貢献」「医療や他介護、行政との交流・連携への貢献」の4つの活動を中心に取り組んで参ります。

 船橋市デイサービス連絡会

 Funabashi Day-service Liaison Group



船橋市障害福祉施設連絡協議会



代表 宮前篤史さん

船橋市障害福祉施設連絡協議会は、当面する障害福祉に関する諸課題等について、情報を収集し、共有しながら、より充実した事業運営を行うことを目的とした、約20の事業所・団体に構成された全員参加型の協議の場です。定例会議を開催し、船橋市及び関係機関とも連携しながら、障害福祉施策の関する情報共有、施策や予算への要望書をまとめる取り組み、施設職員向けの研修会の企画等を行っています。

地域リハビリテーションの普及・啓発には、高齢、医療、障害、児童等、すべての分野において相互で情報を共有し、協力することが大切です。障害福祉サービスの分野の代表として、地域リハ推進委員会に参加させていただき、地域リハビリテーションの普及・啓発に必要な情報発信に、より一層努めてまいりたいと思います。

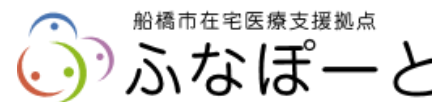
船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーと（船橋市）

☎047-409-1736

「ふなぽーと」は、在宅での医療や介護について、市民の皆さまが気軽に相談していただける常設の相談窓口で、船橋市医師会が船橋市より委託を受けて運営しており、「船橋+サポート」+「船橋の人々が安心して頼れる場所」という意味が込められており、看護師、社会福祉士、介護支援専門員（ケアマネジャー）といった専門職がご相談に応じます。また、在宅医療について多くの市民に知ってもらおうと、市民公開講座や町会・自治会・民生委員・社会福祉協議会・船橋市生活学校等へ相談員が赴いて出前講座なども開催しています。

「通院が難しく自宅で治療を受けたい」、「自宅でどんな治療や処置が行えるのか?」、「退院後のかかりつけ医がない…」など、在宅療養を希望している方の相談をお受けし、担当医療機関を探したり、必要なサービスや担当者への橋渡しをしています。詳細はふなぽーとのホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

これからもご本人とご家族の意思決定を支援し、それを実現できるように関係機関と連携を図り、合意形成を図っていきけるよう努力していきたいと思っています。



船橋在宅医療ひまわりネットワーク事務局（船橋市）

☎047-436-2354



船橋在宅医療 ひまわりネットワーク

地域包括ケアシステムの核となる在宅医療の充実と在宅医療・介護連携を推進するため、平成25年5月、医療・介護関係者及び行政によって構成する「船橋在宅医療ひまわりネットワーク」が設立され、取り組む事業ごとに委員会を設置し、多職種間での顔の見える連携づくり、人材の育成、在宅医療提供時における支援体制の検討等の活動を行ってまいりました。設立当初、医療・介護関係団体の参加は18団体でしたが、現在では25団体と大幅に増え、各委員会の活動内容も充実してきています。

特に、平成28年度から、新たに「地域リハ推進委員会」が加わったことで、在宅医療・緩和ケア提供機関マップ“ひまわりマップ”に、リハビリテーション提供機関を掲載するなど、船橋市における地域リハビリテーションの推進に大きく寄与していただいております。

平成 30 年度 地域リハ推進委員会 出席委員一覧

団体名	委員氏名（敬称略）
一般社団法人船橋市医師会	松岡 かおり、吉田 幸一郎
公益社団法人船橋歯科医師会	藤居 弘通、田代 晴基、 遠田 なほみ、飯島 美智子
一般社団法人船橋薬剤師会	杉山 宏之、永井 葉子
一般社団法人千葉県理学療法士会	御代川 英己
船橋市介護支援専門員協議会	吉田 友則、松本 重訓
船橋市ソーシャルワーカー連絡協議会	半沢 美由紀、齊藤 千尋
ふなばし市訪問看護連絡協議会	太和田 哲也、沢田 智子
船橋市訪問介護事業者連絡会	久保田 恵子
船橋市栄養士会	福島 節子、馬場 さつき、加藤 寿美
船橋市介護老人保健施設協会	塩原 貴子
船橋市老人福祉施設協議会	林 茂樹、石神 敏明
船橋市回復期リハビリテーション病棟連絡会	池田 喜久子
船橋市訪問リハビリテーション連絡会	松川 基宏、外口 徳章
船橋市通所リハビリテーション連絡会	塩原 貴子
船橋市デイサービス連絡会	北原 淳力
船橋市障害福祉施設連絡協議会	宮前 篤史
船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーと	松本 淳
船橋市立リハビリテーション病院	石川 誠、川田 理恵
船橋市リハビリセンター （地域リハビリテーション拠点）	石原 茂樹、江尻 和貴、鳥居 和雄
地域包括支援センター	手塚 一雄

平成 30 年度版 年間予定表

4月			5月			6月			7月			8月			9月		
日付	曜日	予定	日付	曜日	予定	日付	曜日	予定	日付	曜日	予定	日付	曜日	予定	日付	曜日	予定
1	日		1	火		1	金		1	日		1	水		1	土	
2	月		2	水		2	土		2	月		2	木		2	日	
3	火		3	木		3	日		3	火		3	金		3	月	
4	水		4	金		4	月		4	水		4	土		4	火	
5	木		5	土		5	火		5	木		5	日		5	水	
6	金		6	日		6	水		6	金		6	月		6	木	
7	土		7	月		7	木		7	土		7	火		7	金	
8	日		8	火		8	金		8	日		8	水		8	土	RUN伴
9	月		9	水		9	土		9	月		9	木		9	日	
10	火		10	木		10	日		10	火	地域リハ推進委員会	10	金		10	月	
11	水		11	金		11	月		11	水		11	土		11	火	地域リハ推進委員会
12	木		12	土		12	火		12	木		12	日		12	水	
13	金		13	日		13	水		13	金		13	月		13	木	
14	土		14	月		14	木		14	土		14	火		14	金	
15	日		15	火	地域リハ推進委員会	15	金		15	日		15	水		15	土	
16	月		16	水		16	土		16	月		16	木		16	日	
17	火		17	木		17	日		17	火		17	金		17	月	
18	水		18	金		18	月		18	水		18	土		18	火	
19	木		19	土		19	火		19	木		19	日		19	水	
20	金	新地区勉強会	20	日		20	水		20	金		20	月		20	木	第18回研究大会
21	土		21	月		21	木		21	土		21	火		21	金	
22	日		22	火		22	金		22	日		22	水		22	土	
23	月		23	水		23	土	第8回市民公開講座	23	月	第26回 地区勉強会 (中東部)	23	木		23	日	
24	火		24	木		24	日		24	火		24	金		24	月	
25	水		25	金		25	月		25	水	第67回介護職勉強会	25	土		25	火	
26	木		26	土		26	火		26	木		26	日		26	水	
27	金		27	日		27	水		27	金		27	月		27	木	リハビリセンター講演会 第69回介護職勉強会
28	土		28	月		28	木		28	土		28	火		28	金	第12回摂食栄養サポート勉強会
29	日		29	火	第25回 地区勉強会 (北部)	29	金	第66回介護職勉強会	29	日		29	水	第68回介護職勉強会	29	土	
30	月		30	水		30	土		30	月		30	木		30	日	
			31	木	第65回介護職勉強会				31	火		31	金				
備考																	

10月			11月			12月			1月			2月			3月		
日付	曜日	予定	日付	曜日	予定	日付	曜日	予定	日付	曜日	予定	日付	曜日	予定	日付	曜日	予定
1	月		1	木		1	土		1	火		1	金		1	金	
2	火		2	金		2	日		2	水		2	土		2	土	
3	水		3	土		3	月		3	木		3	日		3	日	
4	木		4	日		4	火		4	金		4	月		4	月	
5	金		5	月		5	水		5	土		5	火		5	火	
6	土		6	火	地域リハ 推進委員会	6	木		6	日		6	水		6	水	
7	日		7	水		7	金		7	月		7	木		7	木	
8	月		8	木		8	土		8	火		8	金		8	金	
9	火		9	金		9	日		9	水		9	土	第19回 研究大会	9	土	
10	水		10	土		10	月		10	木		10	日		10	日	
11	木		11	日		11	火		11	金		11	月		11	月	
12	金		12	月		12	水		12	土	ヘルシー船 橋フェア	12	火		12	火	
13	土		13	火		13	木		13	日		13	水		13	水	
14	日		14	水		14	金		14	月		14	木	第13回摂食 栄養サポート 勉強会	14	木	
15	月		15	木		15	土		15	火	地域リハ 推進委員会	15	金		15	金	
16	火		16	金		16	日		16	水		16	土		16	土	
17	水		17	土		17	月	第72回介 護職勉強会	17	木		17	日		17	日	
18	木		18	日		18	火		18	金		18	月		18	月	
19	金		19	月	第27回 地 区勉強会 (南西部)	19	水		19	土		19	火		19	火	地域リハ 推進委員会
20	土	ふなばし 福祉フェス ティバル	20	火		20	木		20	日		20	水		20	水	
21	日		21	水		21	金		21	月	第73回介 護職勉強会	21	木		21	木	
22	月		22	木		22	土		22	火		22	金		22	金	
23	火		23	金		23	日		23	水		23	土		23	土	
24	水		24	土		24	月		24	木		24	日		24	日	
25	木		25	日		25	火		25	金		25	月		25	月	
26	金		26	月		26	水		26	土		26	火		26	火	
27	土		27	火		27	木		27	日		27	水	第74回介 護職勉強会	27	水	
28	日		28	水		28	金		28	月		28	木		28	木	
29	月		29	木	第71回介 護職勉強会	29	土		29	火					29	金	
30	火	第70回介 護職勉強会	30	金		30	日		30	水					30	土	
31	水					31	月		31	木					31	日	

平成 29 年度地域リハビリテーション拠点事業

研修・講演会					
大項目	小項目	予定	参加実績	実施日	開催場所
リハビリ関係者向け講演会					
	第16回研究大会 演題 地域包括ケアシステムと通所リハビリテーション 講師 医療法人 真正会 理事長 斉藤 正身氏	全1回	169名	9月21日	船橋市保健福祉センター
	第17回研究大会 一般演題 5演題 特別講演 「地域包括ケアシステムに向けた同時改定 (介護保険を中心に)」 講師 厚生労働省 老人保険課 課長補佐 井口 豪 氏	全1回	123名	2月17日	きららホール
		全2回	全2回 292名		
リハビリ関係者向け研修会					
	第22回地区勉強会(北部) 事例検討会 「その人らしい生活を送るために～自宅と施設の境界線を考える～」 ミニレクチャー① 「特別養護老人ホームの特徴・過ごし方」 ミニレクチャー② 「デイサービスの特徴・過ごし方」		119名	5月25日	船橋市二和公民館
	第23回地区勉強会(中東部) 事例検討会 「独居で病前情報が分からない方の退院時支援を考える」 ミニレクチャー 「高次脳機能障害について」	全3回	135名	7月19日	船橋市立 リハビリテーション病院
	第24回地区勉強会(南西部) 事例検討会 「50代で脳梗塞発症し高次脳機能障害により病識が欠如した 方の退院支援を考える」 ミニレクチャー 「高次脳機能障害について」		90名	11月16日	船橋市保健福祉センター
		全3回	計3回 344名		
介護職員向け勉強会					
	内容 認知症の方へのケア、経験の浅い人・自信のない人向け	全10回	計10回 304名	5月31日 ～ 2月28日	船橋市立 リハビリテーション病院 船橋百寿園 ローゼンヴィラ藤原 オレンジガーデン
	第10回、第11回摂食栄養サポート勉強会	全2回	67名 67名	9月28日 3月28日	船橋市立 リハビリテーション病院 船橋市立 リハビリテーション病院
		小計 全15回	計15回 782名		
市民向け講演会					
	第7回市民公開講座 演題 「リハビリテーション医療のこれまでとこれから」 講師 石川 誠 氏 医療法人社団輝生会 理事長	全1回	93名	11月26日	船橋市保健福祉センター
	リハビリセンター講演会	全1回	27名	6月29日	船橋市リハビリセンター
		小計 全2回	計2回 120名		
市民向け研修会					
	船橋ふくしフェスティバル	全1回	200名	10月21・22日	vivit 南船橋
	ヘルシーふなばしフェアにおけるリハビリ機器を用いた体験	全1回	45名	1月28日	東武百貨店 船橋店
		小計 全2回	計2回 245名		
総計 全21回 計21回 1439名					
普及・啓発等					
パンフレット作成・配布					
	船橋市リハビリセンターに関するパンフレット	年1回	毎年更新:市民及び専門職を対象にセンター内に配置するとともに、センター見学者や市民向け研修会にて配布 作成部数:1000部		
	地域リハ推進用リーフレット作成	年2回	7月 「良好な睡眠をとるために」 2月 「なんで足つるの」 を作成		
リハビリセンター刊行物					
内容	・ 5月 vol.13 「4事業のさらなる充実を目指して」 ・ 8月 vol.14 「地域包括ケアシステム-構成要素と相互関係について」 ・ 10月 vol.15 「地域包括ケアシステム-公助・共助・自助・互助について」 ・ 1月 vol.16 「地域包括ケアシステムと地域リハビリテーション」	年4回	作成月:5月・8月・10月・1月 二宮・飯山満地区町会に回覧。医師会員あてに配布。関係のある居宅介護支援事業所に送付。市民及び専門職等 を対象にセンター内に配置するとともに、見学者等に配 布、拠点事業ホームページに掲載 作成部数:各4000部		
リハビリ総合相談の周知らし作成・配布					
	リハビリに関する総合相談窓口のPRを目的とした周知らし	年1回	作成月:7月 市民向け周知を予定。7月高齢者福祉課「介護保険・高 齢者福祉ガイド」郵送に伴い周知らしを同封(対象: 3,500世帯)その他に市内公共施設に配架。研究大会・ 市民公開講座の際に配布。		
	ホームページに最新情報掲載	年2回	勉強会等の案内等を随時掲載		
	生活期リハに関する調査研究	年3回	サービス担当者会議実態調査 通所リハビリテーション 実態調査 回復期リハ病棟実態調査		

平成31年1月発行 船橋在宅医療ひまわりネットワーク
(事務局) 船橋市 地域包括ケア推進課 ☎047-436-2354